

平成29年度 英語が好きになる学校づくり事業 取組報告書

事務所名	宮古	学校名	田野畑村立田野畑小学校	TEL	0194 - 34 - 2050
------	----	-----	-------------	-----	------------------

コミュニケーションの楽しさや英語を使うことの面白さを実感させる授業づくり

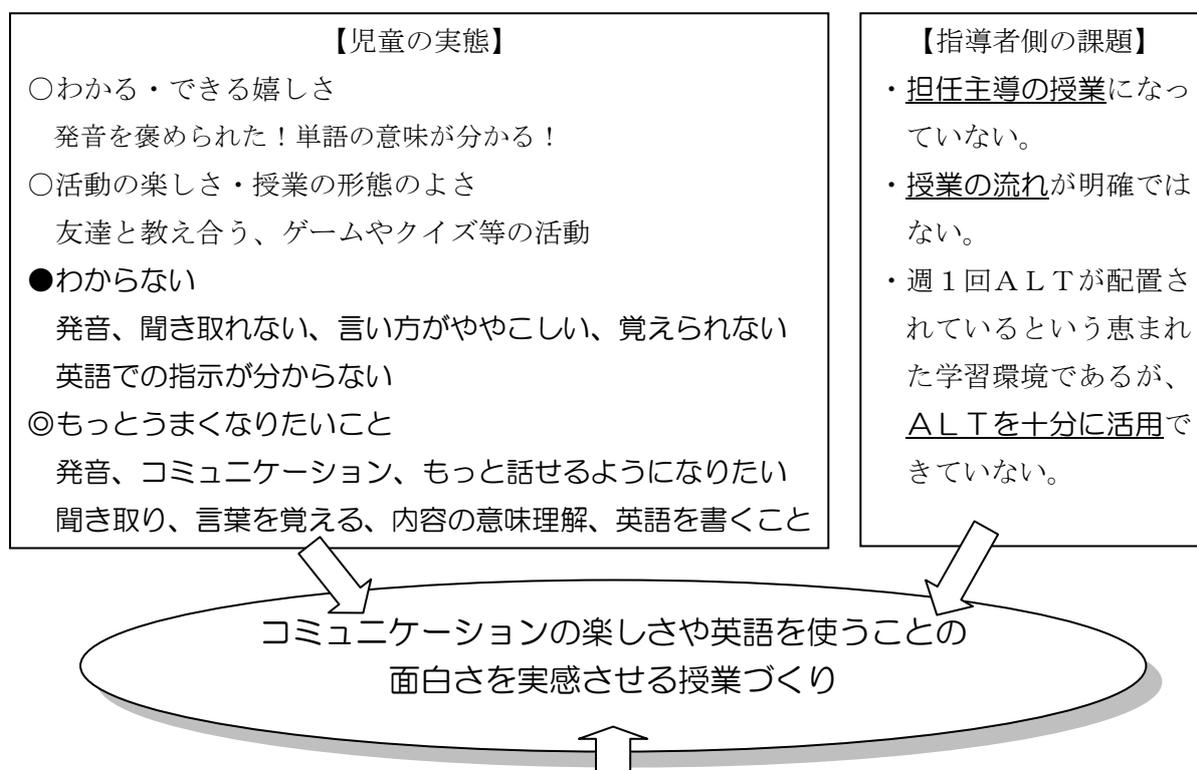
【ねらい】

教科化を視野に入れ、実践を通して外国語活動の授業改善を図り、学校全体で取り組むことで積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

【具体的な取組】

1 校内研修体制の構築 【外国語活動についての共通理解 ～実態把握とテーマの設定～】

児童の実態と指導者側の課題、そして、次期学習指導要領で求められる子どもの姿の3点から、「コミュニケーションの楽しさや英語を使うことの面白さを実感させる」ことを授業づくりの重点に据えた。



以上のような実態から、次の3点を重点課題とした。

(1) 授業づくり

コミュニケーションのよさや楽しさ、面白さを実感できるような授業内容や場の設定を行う。

(2) 外国語の素地づくり

基本的な英語表現やローマ字に慣れ親しませるために、実践的・体験的な活動を繰り返し取り入れる。

(3) 英語運用能力向上研修の充実

2 取組の実際

(1) 授業づくり

【コミュニケーションのよさや楽しさ、面白さを実感できるような授業内容や場の設定を行う】
授業づくりにおいて、大切にすることは以下の4点である。

① 本時の目的意識のもたせ方

単元のゴールの見通しをもたせ、そのために「本時では何ができればいいのか」を明確にした。

② 本時の流れの明示

「Menu board」を活用し、本時の学習の流れを提示し、児童が見通しをもって学習に取り組むことができるようにした。

③ それぞれの活動のねらいの明確化

児童は外国語活動の学習において、ゲームやクイズ等の活動を楽しんでいる。「何のための活動か」「どんな力をつけるための活動か」を指導者が意識して授業を組み立てること、つまり「意味のある活動」を意図的に仕組むこと、活動と活動のつながりをもたせることを大切にした。これにより、児童への指示や留意点が明確になり既習を生かした学習が展開できたことが、意欲の向上や技能・知識の定着につながっていると考える。

活動を行う前には担任とALTによるデモンストレーションを行い、活動の見通しをもたせるようにした。また、指示はできるだけ英語で行うことを心がけながらも日本語で補うことにより、児童は、安心してコミュニケーションを楽しんでいる。

④ 振り返りのさせ方と活用

振り返りの際は、本時の課題に即した観点を与えること、友達と交流すること、振り返りを「学びの足跡」として次時への学習につなげることを意識的に取り組んでいる。

振り返りをすることは、学習内容の理解度や意欲、課題点をみとることができ、次時の授業を構想するためにも有効であると考えられる。また、児童自身が自分の学びを実感すると共に、友達との交流とお互いのよさを認め合ったり、新たな気づきをもったりすることで自己肯定感を育むことにもつながっている。

【振り返りから】

- ・「コウモリ」と「バット」が同じ言い方だったことに驚きました。
- ・Aさんのクイズを聞いて「スモール、スモール」と2回言ってすごく小さいことを伝えているのいいなと思いました。

(2) 外国語の素地づくり

【基本的な英語表現やローマ字に慣れ親しませるために、実践的・体験的な活動を繰り返し取り入れる】

○ローマ字の習得

- ・完全習得学習として3年以上に単語の読み書きプリントを作成、実施した。

○基本的な英語表現への慣れ親しみ

- ・English コーナー
- ・相手に「伝えよう」「伝えたい」という児童の意欲や態度の育成とそれに伴う技能の習得
⇒「Hello」「Hi!」「see you」「Let's go」等、ALTとの簡単なやりとり

○国際理解教育 ゲームやALTとのやり取りを通して簡単な英語表現に親しませる。

月	1年生	2年生	3年生	4年生
5	あいさつ	みんなのからだ	体をつかってあそぼう	どんなスポーツが好きですか。
7	アルファベットと なかよし	どんな食べ物が 好きですか	何曜日かな？	この月何の月？
10	Happy Halloween			
12	クリスマスゲームを しよう	クリスマスツリーを 作ろう	クリスマスカードを 作ろう	クリスマスソングを 歌おう
2	数字で遊ぼう	好きな色は何色ですか	買い物をしよう	電話をしよう

「Snowman please.」 「thank you.」
～ALTとのやり取りを通して～

「ハロウィン バスケット」
～ゲームを通して～

○興味・関心を高める日常の取組（5・6年）～授業とのつながりを意識して～

・生活ノート（今日の一日：毎日の短作文）

外国語の数日前に授業内容に直接つながるお題をテーマとした短作文を書かせる。

※例 ⇒児童が書いてきた作文の内容から授業で活用できそうなものをピックアップしておく。

～さんは、生活ノート
にこんなことを書いて
いたけど英語でな
んて言うのかな？

短作文テーマ	授業内容
自分が得意なこと	Lesson 3 I can swim
外国人に案内したい観光地	Lesson 4 Turn right
行ってみたい国	Lesson 5 Let's go to Italy
有名な世界遺産：国内・世界	Lesson 5 Let's go to Italy

・学級通信の活用

・外国語活動の授業記録として

⇒子ども自身にとって学習のフィードバック…話した外国語・振り返り等

・家庭における学校での「外国語活動」への関心を高める。

(3) 英語運用能力の研修の充実

① 職員会議時10分程度、中核教員・研究主任が主になり簡単な研修を行う。

ex. ○クラスルームイングリッシュ

・ペアでやりとり、担任・児童の役割に分かれて簡単な演習等

○アクティビティの体験 「Hi! friends」 6年 Lesson 4 「Turn right.」

・「What's this ～」「It's～」を使って、場所や店の名称について問答する。

・クラスルームイングリッシュを使い、相手を称賛したり励ましたりする。

○Phonics（フォニックス）による発音練習（チャンツ）

② 外国語中核教員研修の伝達講習会・新学習指導要領の実施に向けた資料での研修

③ 5・6年担任による日常的な授業提案

④ 「研究だより」の発行

授業の全ての指示を英語で話そうとすることは、教師にとってかなり難しい…

⇒理解できない英語を聞き続ける子どもの負担はかなり大きい…

そこで、高学団では日常の授業において

大きな指示を英語で出すこと・細かい指示・説明は日本語ですること
をしています。また、英語での指示の出し方には2パターンがあります。

- ① 英語フレーズ+（意味を考えさせる間）+日本語訳
- ②日本語訳+（直後）英語フレーズ

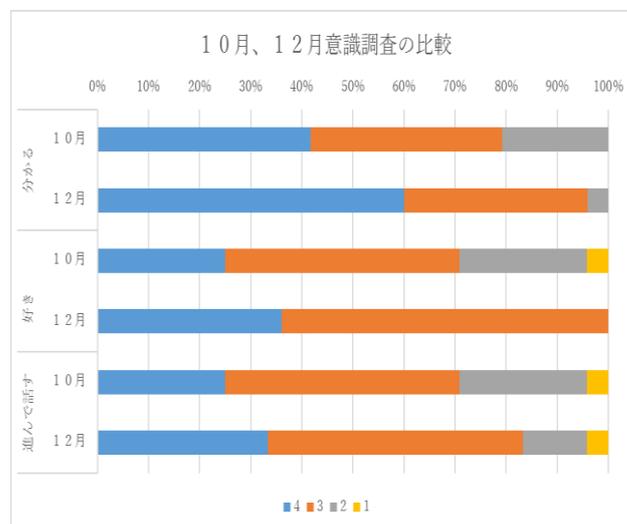
最近、②がよいのかなと感じています。

【10月20日付「田野畑研究部だより」より テーマ：英語と日本語のバランス】

3 成果

(1) 児童の変容

- ・意識調査から、「外国語の学習が分かる」「外国語の学習が好き」と答えた児童の割合が増加した。
- ・「自信がない」「間違いたくない」という理由で進んで話そうとしなかった児童も、その原因を探り手立てを講じることにより、肯定的な記述に変容してきている。
- ・教師が英語を積極的に使うことで、児童も抵抗感が薄れ積極的に話す姿が増えた。
- ・興味・関心を高める手立てにより、自分の思いが授業に反映されてやりたいことが実現し、外国語への有用感・必要感が意欲につながっている。
- ・単元や本時のねらいを明確にし、本時の活動を吟味したり、振り返りを活用したりすることで、児童が主体的に活動できるようになってきた。



(2) 指導者の変容

- ・「担任は児童の代表」という意識をもち、以前より教師が積極的に外国語を使ったり、ALTに話しかけたりするようになった。
- ・打ち合わせをしっかりと行うことで役割が明確になり、ALTを授業に生かすことができるようになった。
- ・教師自身が外国語活動の授業への関心を高め、意欲的に楽しんで授業に臨んでいる。